



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月11日

上場会社名 スカイマーク株式会社 上場取引所 東
コード番号 9204 URL <https://www.skymark.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）本橋 学
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 財務経理部長 （氏名）田上 馨 TEL 03(5708)8280
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	54,488	4.7	2,324	△26.9	95	△98.4	△590	—
2024年3月期中間期	52,035	28.3	3,180	93.5	5,978	46.0	3,318	22.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△10.02	—
2024年3月期中間期	55.00	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については潜在株式が存在しないため記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	101,631	22,304	21.9
2024年3月期	110,790	27,857	25.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 22,304百万円 2024年3月期 27,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2025年3月期の期末における配当予想額は未定としております。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,200	7.8	3,500	△25.0	3,600	△51.8	4,200	40.1	71.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	60,329,400株	2024年3月期	60,329,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,363,830株	2024年3月期	1,380,014株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	58,953,444株	2024年3月期中間期	60,329,400株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年11月11日（月）に機関投資家・アナリスト向けオンライン決算説明会を開催する予定です。この説明会の内容（動画）及び決算補足説明資料については、速やかに当社IRサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により、景気は緩やかに回復しております。一方で、不安定な世界情勢による原材料及びエネルギー価格の高騰、大幅な為替変動や世界的なインフレの影響を受けた物価上昇など、依然として先行きには十分注意が必要な状況が続いております。

当社が事業を展開する航空業界の国内線市場においては、夏季休暇期間中の国内旅行や継続するインバウンド等により、旅客需要は堅調に推移いたしました。

このような環境下において、当社の当中間会計期間の有償旅客数は4,149,627名(前年同期比4.5%増)となり、当社のメイン顧客層であるレジャー・VFR^{※1}を中心とした需要を着実に捕捉することで、中間会計期間において過去最高を更新しております。一方、為替変動の影響を大きく受ける事業費においては、物価高騰や海外におけるインフレ等により前年同期比で増加いたしました。オペレーション業務の見直しやコスト管理の徹底など、自助努力による抑制を進めてまいりましたが、営業利益は前年同期比で減益となりました。

また、当社の中長期経営目標を実現するための重要ファクターとなる、顧客満足の上昇を追求した高品質なサービス提供に取り組む中で、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施している2024年度JCSI(日本版顧客満足度指数: Japanese Customer Satisfaction Index)調査の「国内長距離交通部門」において、3年連続で顧客満足第1位を獲得いたしました。

※1. Visit Friends and Relatives: 友人親族訪問

(事業収益及び営業費用の状況)

当中間会計期間においては、上記のとおり旅客需要の増加により、事業収益は54,488百万円(前年同期比4.7%増)となりました。事業費につきましては、世界的なインフレによる燃料価格等の物価上昇により48,731百万円(前年同期比6.2%増)となり、営業利益は2,324百万円(前年同期比26.9%減)となりました。

営業外損益では、主に円高に伴う外貨建資産に係る評価損としての為替差損を2,252百万円計上し経常利益は95百万円(前年同期比98.4%減)に、中間純損益は法人税等調整額670百万円の計上により中間純損失590百万円(前年同期は3,318百万円の間接純利益)にそれぞれなりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産合計は101,631百万円となり、前事業年度末に比べ9,159百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,583百万円、未収入金が3,301百万円、長期預け金が4,310百万円減少したことによるものです。負債合計は79,327百万円となり、前事業年度末に比べ3,605百万円減少しました。これは主に、契約負債が1,146百万円、デリバティブ債務が1,481百万円増加した一方で、定期整備引当金が5,449百万円減少したことによるものです。純資産合計は22,304百万円となり、前事業年度末に比べ5,553百万円減少しました。これは主に、剰余金の配当及び中間純損失により利益剰余金が2,300百万円減少、繰延ヘッジ損益が3,265百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べて1,583百万円減少し、25,326百万円(前事業年度末は26,909百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は3,820百万円(前年同期は5,331百万円の獲得)となりました。これは主に長期預け金の減少4,310百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は2,723百万円(前年同期は972百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,563百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は2,134百万円(前年同期は351百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出500百万円及び配当金の支払1,550百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における事業収益、営業利益は概ね想定範囲内で進捗しましたが、円高の進行による外貨建資産から生じた為替差損の影響により、経常利益及び中間純利益において想定を下回りました。

通期の業績予想につきましては、為替の動向を見通すことは困難であるため現時点では、2024年5月15日付「2024年3月期 決算短信」にて公表した業績予想を据え置くことといたしました。

なお、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合、速やかに公表いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,909	25,326
営業未収入金	5,752	6,061
貯蔵品	70	29
未収入金	4,267	966
前払費用	4,234	5,704
デリバティブ債権	1,298	—
為替予約	1,905	656
その他	32	56
流動資産合計	44,473	38,801
固定資産		
有形固定資産		
航空機材(純額)	10,226	9,530
その他(純額)	3,673	5,334
有形固定資産合計	13,899	14,864
無形固定資産	281	174
投資その他の資産		
長期前払費用	141	122
敷金及び保証金	4,155	3,900
長期預け金	29,932	25,621
繰延税金資産	17,067	18,123
デリバティブ債権	297	—
為替予約	540	21
その他	0	0
投資その他の資産合計	52,136	47,791
固定資産合計	66,317	62,829
資産合計	110,790	101,631
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,050	4,297
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	1,250	1,500
未払法人税等	32	16
契約負債	13,688	14,834
定期整備引当金	14,743	8,498
賞与引当金	962	996
デリバティブ債務	—	925
為替予約	—	33
その他	2,291	1,944
流動負債合計	57,019	53,046
固定負債		
長期借入金	9,250	8,500
返還整備引当金	3,236	2,724
定期整備引当金	12,328	13,124
資産除去債務	445	447
デリバティブ債務	—	555
為替予約	—	305
その他	653	622
固定負債合計	25,913	26,280
負債合計	82,932	79,327

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	18,353	18,349
利益剰余金	8,421	6,121
自己株式	△1,393	△1,377
株主資本合計	25,481	23,192
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	2,376	△888
評価・換算差額等合計	2,376	△888
純資産合計	27,857	22,304
負債純資産合計	110,790	101,631

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
事業収益	52,035	54,488
事業費	45,905	48,731
事業総利益	6,129	5,757
販売費及び一般管理費	2,949	3,432
営業利益	3,180	2,324
営業外収益		
受取利息	0	128
違約金収入	462	477
為替差益	2,849	—
その他	126	79
営業外収益合計	3,438	685
営業外費用		
支払利息	221	255
為替差損	—	2,252
支払手数料	387	213
固定資産除却損	6	137
その他	24	55
営業外費用合計	640	2,914
経常利益	5,978	95
税引前中間純利益	5,978	95
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	2,644	670
法人税等合計	2,660	686
中間純利益又は中間純損失(△)	3,318	△590

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	5,978	95
減価償却費	1,222	1,435
定期整備引当金の増減額 (△は減少)	△41	△5,449
返還整備引当金の増減額 (△は減少)	22	△512
賞与引当金の増減額 (△は減少)	348	34
受取利息	△0	△128
支払利息	221	255
為替差損益 (△は益)	△1,154	766
固定資産除却損	6	137
売上債権の増減額 (△は増加)	△713	△309
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△7	41
前払費用の増減額 (△は増加)	△464	△1,465
未収入金の増減額 (△は増加)	174	3,247
長期預け金の増減額 (△は増加)	△1,587	4,310
仕入債務の増減額 (△は減少)	△878	297
契約負債の増減額 (△は減少)	2,159	1,146
未払金の増減額 (△は減少)	156	△10
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△75	53
未払消費税等の増減額 (△は減少)	204	—
その他	12	33
小計	5,584	3,980
利息及び配当金の受取額	0	128
利息の支払額	△220	△255
法人税等の支払額	△32	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,331	3,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△710	△2,563
有形固定資産の売却による収入	16	0
無形固定資産の取得による支出	△38	—
敷金及び保証金の差入による支出	△240	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△972	△2,723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△500
自己株式の取得による支出	—	△0
リース債務の返済による支出	△76	△83
配当金の支払額	△275	△1,550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351	△2,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	752	△545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,758	△1,583
現金及び現金同等物の期首残高	22,519	26,909
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,278	25,326

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、航空事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。